



# 7つめの鉢が傾くまえに

黙示録17章

# 黙示録 17章を始める前に

黙示録 17章には、今までの黙示録の学びと同様に、数々の出来事が象徴的な表現によって記されています。象徴の解釈をする時には、21世紀の私たちの時代に合わせるのではなく、「ヨハネの時代」の人々がどのように解釈したか」を考えながら学ぶようにしましょう。

黙示録には、読者の興味を引く象徴や表現がたくさん出てきます。しかし、それらに“心が捕われる”ことがないように気をつけましょう。象徴の学びはとても大切ですが、イエス様が全ての中心におられ、また全ての人を愛していることを、忘れないようにしましょう。

黙示録の象徴的な表現を理解するには、私たちは神様からの知恵に頼る必要があります（黙 13:18; 17:9, ヤコブ 1:5）。“勉強”や“研究”をする前に、神様からの知恵と導き、そして聖霊の助けを祈り求めましょう（ヤコブ 1:6,7）。

## 最初の疑問：17章の幻を語る天使はだれ？

それから、七つの鉢を持つ七人の御使のひとりがきて、わたしに語って言った、  
「さあ、きなさい。多くの水の上にすわっている大淫婦に対するさばきを、見せよう。（黙 17:1）

この疑問に対する答えは、七つの災害をもたらす御使（七つの鉢を持つ）の中で、どの天使が多くの水の上にすわっている大淫婦に災害をもたらすかを知ること、見えてきます。どうやらその大淫婦の額には、『大いなるバビロン、淫婦どもと地の憎むべきものらの母』とするされているようです（黙 17:5）。

大ユウフラテ川とバビロンの関係は、聖書の中に見ることができます（エレミヤ 51:60-64; イザヤ 44:27）。“多くの水の上にすわっている大淫婦”は、大ユウフラテ川とバビロンを象徴し、六番目の御使が大ユウフラテ川を枯らしたのでした（黙 16:12-16）。ですから、六番目の御使が17章の幻を語ったのです。

# 大淫婦

それから、七つの鉢を持つ七人の御使のひとりがきて、わたしに語って言った、「さあ、きなさい。多くの水の上にすわっている大淫婦に対するさばきを、見せよう。地の王たちはこの女と姦淫を行い、地に住む人々はこの女の姦淫のぶどう酒に酔いしれている」。

黙示録 17章 1-2節

## 大淫婦とは

女：

イスラエル (エゼキエル 16:6-8)

教会 (エペソ 5:23-25; 第二コリント 11:2)

淫婦：

- 背教したイスラエル・宗教

- 背教した教会

➔ 「地の王たちを支配する大いなる都」 (黙 17:18)

## 姦淫

大淫婦は、地の王たちと姦淫を行います (黙 17:2; 18:3)。大淫婦が宗教 (背教した教会) を象徴するのに対し、地の王たちは政治を象徴しています。

この姦淫を、政教一致と言います。

## 背教とは

「さらに彼らは、わたしに対してこのようにした。すなわち、彼らは同じ日にわたしの聖所を汚し、わたしの安息日を犯した。」 (エゼキエル 23:38)

「彼は、いと高き者に敵して言葉を出し、かつ、いと高き者の聖徒を悩ます。彼はまた時と律法とを変えようと望む…」 (ダニエル 7:25)

私たちの生活には、もともと神様から与えられた宗教的な制度に、様々な形で国と政治が関わっているのを見ることができます。例えば、結婚は神様から与えられたものですが (創世記 2-3 章)、私たちが今結婚したことを社会に認められるためには、役所に行かなくてはなりません。このようにして、世の終わりにはどんどん政治と宗教が混ざり合っていくでしょう。そしてその最たるものが、安息日問題 (日曜休業令) となっていくことでしょう。

## 大淫婦が座るところ

- 水 (黙 17:1,15)
- 赤い獣 (黙 17:3)
- 七つの山 (黙 17:9)

## 水

水が象徴するもの：

- あらゆる民族、群衆、国民、国語 (黙 17:15; イザヤ 17:12,13)

## 3度枯れる川 (水)

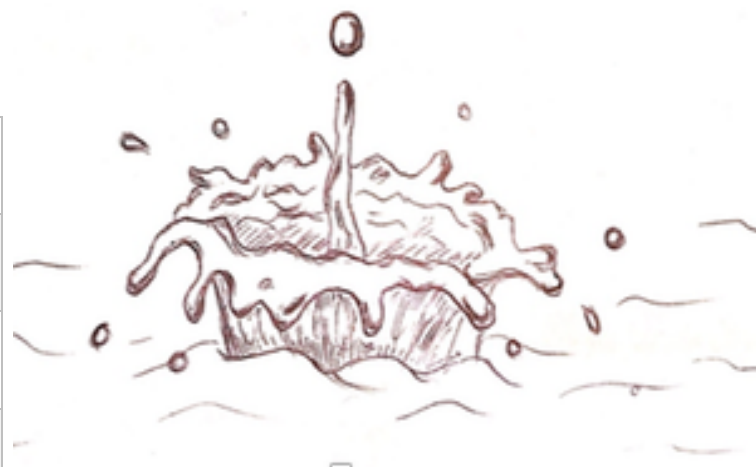
ユウフラテ川の水は、聖書によると三回枯れることが記されています。

- クロス王によって (イザヤ 44:27)
  - ◇ スタディガイド“最後の七つの災害”参照
- 口から吐き出した水を地が飲み干した時 (黙 12:15,16)
- 恩恵期間の終了後—第六の災害の時 (黙 16:12)

黙示録 12 章 15 節では、七つの頭を持つ龍が口から水を吐き出す様が記されています。さて、この“口から”という言葉、単数系なのです。言い換えるなら、“七つの頭のうちの一つの頭の口から”という意味です。水の勢いを失った頭は、力を失い死ぬほどの傷を受けました (黙 12:16; 13:3)。恩恵期間の終了後、大淫婦は自分が支配していた王たちに滅ぼされると書いてあります (黙 17:16)。

## 聖書と歴史に照らし合わせた水と洪水の流れ

|      |   |
|------|---|
| 洪水   | ローマ教皇制度による 1260 年 (42 ヶ月) の支配 (538-1798 年)<br>➤ ダニエル 7:25; 黙 11:3; 12:6,14,15; 13:5 他 |
| 枯れた水 | 政治の助けを失ったローマ教皇制度 (1798 年)<br>➤ 黙 12:16  |
| 洪水   | アメリカの助けにより復活するローマ教皇制—治った傷<br>➤ 黙 13:12-18   |
| 枯れる水 | 第六の災害の時に、ローマ教皇制度は全世界の政治の助けを失う<br>➤ 黙 17:16  |



## 大淫婦の名とその娘たち

大淫婦の名前：

➤ 「大いなるバビロン、淫婦どもと地の憎むべきものらの母」(黙 17:5)  
母の子(娘)：

- 旧約聖書：バアルの預言者たち(王上 16-21 章)
- 新約聖書：ヘロデとヘロデヤの娘(マルコ 6:14-28)
- 黙示録：背教したプロテスタント教会(黙 13:11; 16:13; 17:2)

\*プロテスタント教会は、宗教改革を経てローマカトリック教会から分離しました。

第 261 代ローマ教皇のヨハネ 23 世はこのような言葉を、第 2 バチカン公会議(1962-1965 年)の開会の挨拶でこのような言葉を残しています。  
“ローマカトリック教会は愛情深く、親切で忍耐強い母親です。ローマカトリック教会は離れていった子供達(プロテスタント)に同情と哀れみを持っています。”

…憎むべきものと自分の姦淫の汚れとで満

ちている金の杯を手に持ち、その額には、

一つの名がしるされていた…

「大いなるバビロン、淫婦どもと地の憎むべきものらの母」というのであった。

黙示録 17 章 4,5 節

## ぶどう酒が満ちた金の杯

大淫婦はその手に、ぶどう酒が満ちた金の杯を持っています(黙 17:2,4)。

～誰がぶどう酒を飲むのか?～

- すべての人々(黙 14:8; 17:2; 18:3)

～ぶどう酒は何でできている?～

- 憎むべきものと大淫婦の姦淫
- \*姦淫については、ページ 4 (姦淫) 参照

聖書に書かれている憎むべきもの(例)

- ◇ 偶像・太陽礼拝(申命記 7:25,26; エゼキエル 8:16; 23:35-45)
- ◇ 占い、魔術、霊媒(申命記 18:9-13)
- ◇ 十戒に耳を傾けないこと(箴言 28:9)
- ◇ 忌むべき物を食べる(申命記 14:3)
- ◇ 血を流すこと(エゼキエル 22:2)

「神を汚す名」(黙 17:3) = 自分を神とすること・罪を神の代わりに許すこと  
➤ 詳しくはヨハネ 10:30-33 とマルコ 2:7 を参照。

# 赤い獣

## 赤い獣と二匹の獣と赤い龍

黙示録 12 章：赤い龍

黙示録 13 章：二匹の獣

黙示録 17 章：赤い獣

- 龍が一つの口から水を吐くこと（黙 12:15）、頭の一つだけが致命的な傷を負うこと（黙 13:3）、そして「五人はすでに倒れ、ひとりは今おり、もうひとりは、まだきていない」（黙 17:10）ことからわかるように、この不思議な生き物は強大な一つの力の下にある7つの頭が一つずつ世を支配することを象徴しています。

このことから、「赤い龍」＝「赤い獣」であると考えることができます。（GC p.438）

## 七つの頭と七つの山

七つの頭 = 大淫婦の座っている七つの山（黙 17:9）

山 = 王国（ダニエル 2:35,44; ミカ 4:1）

大淫婦の座っている七つの山

➔ 大淫婦にコントロールされる七つの王国

➔ 背教した宗教にコントロールされる七つの王国

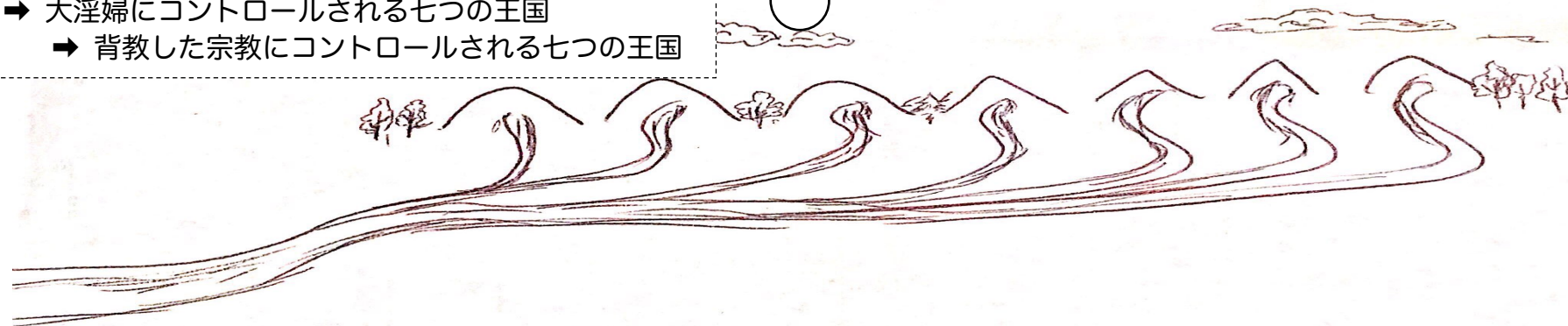
## 伝説：水の龍

イザヤ書 8 章 7,8 節にはこのように書いてあります。

…みなぎりわたる大川の水を  
彼らに向かってせき入れられる。

…その広げた翼はあまねく、あなたの国に満ちわたる。

勢いよく山を流れる水の様が、まるで龍のように表現されています。古代イスラエルの伝説によると、山は龍の頭に、そしてくねりながら流れる川は龍の体に例えられました。黙示録 17 章の大淫婦が“水”と“山”と“赤い獣”の上に座っているのはそのためです（黙 17:1,3,9）。この古代イスラエルの考えをもとにするのなら、“赤い獣”の体は“山”を流れる“水”です。つまり、“赤い獣”の体は聖徒たちを苦しめる七つの王国の人々です。そして、聖徒たちの血で満たされた“水”は赤いのです（黙 12:5,6）。



## 3匹の生き物

黙示録には、3匹の七つの頭を持った生き物が登場します。

- 黙示録 12:3
- 黙示録 13:1
- 黙示録 17:8

どこから現れる？

- 黙 12: 天
- 黙 13: 海
- 黙 17: 底知れぬ所

## 底知れぬ所とは

獣は「底知れぬ所」より現れます (黙 17:8)。聖書には、「底知れぬ所」について、このように書いてあります。

また、「だれが底知れぬ所の下るであろうかと言うな」。それは、キリストを引き降ろすことである。ローマ 10:7

そして、底知れぬ所に投げ込み、入口を閉じてその上に封印し、千年の期間が終るまで、諸国民を惑わすことがないようにしておいた… 黙示録 20:3

底知れぬ所 (ギリシャ語)

➤ 死がつながれる所 (黙 20:1-9)

\*黙 9:1;11:7 も参照

## 黙示録 12,13,17 章の共通点

| 黙示録 12-13 章               | 黙示録 17 章                  |
|---------------------------|---------------------------|
| 七つの頭と十の角 (黙 12:3; 13:1)   | 七つの頭と十の角 (黙 17:3)         |
| 神を汚す名 (黙 13:1)            | 神を汚す名 (黙 17:3)            |
| 女 (黙 12:1)                | 大淫婦 (黙 17:1)              |
| 知恵が必要 (黙 13:18)           | 知恵が必要 (黙 17:9)            |
| すべての部族、民族、国語、国民 (黙 13:7)  | あらゆる民族、群衆、国民、国語 (黙 17:15) |
| 聖徒を迫害 (黙 12:6, 13-15)     | 聖徒を迫害 (黙 17:6)            |
| 吐き出された水 (黙 12:15)         | 水の上に座っている (黙 17:1)        |
| 飲み干され、枯れた水 (黙 12:16)      | 枯れた大ユウフラテ川 (黙 16:12)      |
| 1260 年 (黙 12:16; 13:5)    | 昔はいた (黙 17:8)             |
| 死ぬほどの傷を受けた (黙 12:16;13:3) | 今はおらず (黙 17:8)            |
| 治った傷 (黙 12:17; 13:3)      | やがて来る (黙 17:8)            |
| 獣と偽預言者 (黙 13:1-18)        | 大淫婦と娘 (黙 17:5)            |



# 七つの頭

5 ページ目でも学んだように、七つの頭は「背教した宗教にコントロールされる七つの国」を象徴します。

## 獣の特徴一昔、今、そして

- ◇ 「昔はいたが、今はおらず、そして、やがて」現れる (黙 17:8)
- ◇ 「そのうちの五人はすでに倒れ、一人は今おり、もう一人は、まだきてない」 (黙 17:10)
- ◇ 「昔はいたが今はいないという獣は、すなわち第八のものであるが、またそれは、かの七人の中のひとり」である (黙 17:11)

上の3つの聖句からも分かる通り、獣の七つの頭は一つずつ聖徒たちを支配します (5 ページ「赤い獣と二匹の獣と赤い龍」参照)。

## 疑問一第八のもの！？

黙示録 17 章 11 節には「第八のもの」という言葉が出てきます。それはまるで、この獣に8つの頭があるかのような印象を与えますが、聖書を読むと獣には七つの頭があることがわかります。

- ◇ 「七つの頭」を持つと明確に記述されているが、「八番目の頭」という言葉は出てきません (黙 13:7,9,10)

## 七つの頭の解釈

### Ranko Stefanovic 他

1. エジプト
2. アッシリア
3. バビロン
4. ペルシア
5. ギリシア
6. ヨハネの時代のローマ帝国
7. 海からの獣 (ローマ教皇制)

### Stephen Bohr 他

1. バビロン
2. メドペルシャ
3. ギリシア
4. ヨハネの時代のローマ帝国
5. ヨーロッパ (ローマ教皇制の背景)
6. アメリカ (プロテスタントの背景)
7. 全世界の王と復活したローマ教皇制

### 数字の8：復活の数字

数字の8は、完全数の7の後に続きます。完全、また完結を表す7の後に続く8は「復活・新しい始まり」を表します。

- ノアの洪水で救われた人の数 (創 7:13)
- 新約聖書の著者の数

つまり、「第八のもの」は「傷が治った七番目の頭」であることがわかります。

上記の二つの七つの頭の解釈は、現在のアドベンチスト聖書解釈者の中で主流の二つの考えです。今のところ、全ての解釈者が完全に一致した考えはありませんが、メインポイントである「第八のものが終わりの直前に登場し、滅亡する」という考えは一致しています。(Ranko Stefanovic 著 Revelation of Jesus Christ; Stephen Bohr 著 The Wise Shall Understand)



# 十の角

黙示録に出てくる三匹の七つの頭を持った生き物には、十の角があると聖書は書かれています。(黙 12:3; 13:1; 17:3)  
七つの頭が連続して聖徒たちを苦しめた (5 ページ「赤い獣と二匹の獣と赤い龍) のとは対照的に、十の角は同時に起こります。

あなたの見た十の角は、十人の王のことであって、彼らはまだ国を受けてはいないが、  
獣と共に、一時だけ王としての権威を受ける。(黙 17:12)

十の角は、十人の王を象徴します。そして、  
十人の王は「全世界の王たち」を象徴します  
(黙 16:14; 17:18)。

預言の成就の仕方：  
預言にはある一定のパターンが存在しま  
す。それは、昔一度起こったことは、将  
来大きくなって繰り返すということだ  
す。ダニエル書の2章と7章に出てくる  
足(ダニエル 2:42) や十の角は(ダニ  
エル 7:20,24) ヨーロッパの国々を象  
徴しましたが、終わりの時には全世界の  
王を表すのです。

## ひとつの思い

神は、御言が成就する時まで、彼らの心の中に、御旨を行い、思いをひとつにし、  
彼らの支配権を獣に与える思いを持つようにされたからである。(黙 17:17)

この全世界の王たちは、ローマカトリックのシステムとプロテスタントの影響を大  
きく受けて、日曜休業令を施行するでしょう。この時、彼らの思いはひとつとなる  
のです(黙 13:11-12,14-15; ダニエル 7:25 他)。しかし、「神様が思いを持つよ  
うにされた」という記述は、私たちに神様が常に絶対的な支配権を握っておられる  
ことを思い出させてくれます。

## 数字の十

数字の10は「すべて」の象徴です。

- アブラハムの全ての良いもの(創 24:10)
- 全てのイエス様に従う僕(マタイ 25:1)
- 全てのイエス様に従う僕(ルカ 19:13)
- 試され、知恵と理解を得た青年たち(ダニエル 1:14,15,20)
- 十一献金は、全て神様のものだと言明すること(マラキ 3:8,10 他)
- 十戒を守ることは、「すべての人の本分」(伝道 12:13; 申命記 5:22)

## 十人の王の運命

- ◇ 自分たちの力と権威とを獣に与える(黙 17:13)
- ◇ 獣と共に、一時だけ(one hour)王としての権威を受ける(黙 17:12)
- ◇ 小羊に戦いを挑む(黙示録 19:19; 16:14)
- ◇ 最終的に、淫婦を憎み、みじめな者にし、裸にし、彼女の肉を食い、火で焼き尽くす(黙 17:16)
  - 水(大ユウフラテ川)が枯れる(黙 16:12)

# おわりに

この世の最終局面において、世界中の王たちは、小羊とその大軍勢に戦いを挑みます（黙 19:19; 16:14）。しかし、イエス様、そしてイエス様に忠実だった人たちは勝利を得ます（黙 17:17; 19:19-20）。なぜならイエス様は「主の主、王の王であるから、彼らにうち勝」つのです（黙 17:14）



おしまい

## 参照

聖書

Ranko Stefanovic 著  
Stephen Bohr 著

Revelation of Jesus Christ  
Wise Shall Understand